

※本資料に記載されている各研修の回数・人数は現時点の想定案であり、出演者等はすべて未調整です。ただし、10月6日・11月～12月に行う共通研修の会場は委託者で確保済です。

横浜市ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックにおける横浜市のボランティアについての基本方針

方針1：円滑な大会運営支援と来訪者へのおもてなし

安全で円滑な大会運営を支援するとともに、横浜を訪れる方々が快適に楽しく過ごせるようなおもてなしの提供に取り組みます。

方針2：質の高いおもてなしを提供できる人材育成

横浜を訪れる方々に分け隔てなく思いやりを持ち、多様性を尊重する意識や国際感覚等を持つ人材の育成に取り組みます。

方針3：多様な参加者の活躍促進

様々な方々が参加しやすく、いきいきと活躍いただけるよう、募集、採用、配置など、それぞれのプロセスにおける環境整備等に取り組みます。

方針4：両大会経験者の活動継続

両大会を契機に、多くの皆様が大会後もボランティアに継続的に参加するなど、ボランティア文化の醸成・定着に向けて取り組みます。

| 本研修で取り扱う学習テーマ | | |
|------------------|------------|-----------|
| リスク管理 | 横浜市の知識 | おもてなしマインド |
| ダイバーシティ&インクルージョン | コミュニケーション力 | 異文化理解 |
| ボランティアの基礎知識 | チームビルディング | リーダーシップ |
| | ボランティアレガシー | |

| 時期 | イベント名 | 概要 | 形式 | 対象 | 対象人数 | 定員 | 回数 | 会場 | 時間 | 備考 | |
|---------------------|---------------------------|-----------------------------|---|--------------|----------------|--------|--------|-----|---|------------|---|
| 2019年 2020年 | 9月頃 | 共通研修受講者決定【横浜市・都市ボランティア登録】通知 | | | | | | | | | |
| | 10月6日(日) | 共通研修 1回目 | 式典 来賓等を迎える 参加者の機運醸成 | イベント (座学) | 全員 | 3,000人 | 3,000人 | 1 | 横浜市文化体育館 | 3時間 | MC、市長ご挨拶、ゲスト、映像、クイズ、ゲーム、字幕、欠席者フォロー ※午前設営、14時開場、15時開演 |
| | 11月中下旬 (金土日) ※会場に記載 | 共通研修 2回目 | 2020大会概要の理解 横浜市の情報提供 ボランティア活動の基礎理解 コミュニケーション力の向上 | ホール (座学) | 全員 | 3,000人 | 500人 | 9 | 戸塚公会堂 (11/16,17,12/6) 西公会堂 (11/24) 神奈川公会堂 (11/22、30) | 3時間 | 1回あたりの定員500人 ボランティアは全回通じて1回参加することとし、各日で同内容を最低2回実施すること。 |
| | 12月上旬 ～3月下旬 | 任意研修① | 危機管理研修(AED講習) | 実習 | 希望者 | 900人 | 100人 | 9 | 机椅子が稼働できる場所 | 2時間 | |
| | | 任意研修② | 障がい者サポート研修 | 実習 | 希望者 | 900人 | 100人 | 9 | 机椅子が稼働できる場所 | 2時間 | |
| | | 任意研修③ | 競技会場見学ツアー | 現地 | 希望者 | 未定 | 未定 | 未定 | 日産スタジアム 横浜スタジアム | 2時間 2時間 | |
| | | 任意研修④ | 観光名所見学ツアー | 現地 | 希望者 | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 | 3時間 | 有料施設は参加者負担 |
| 2020年 | 3月頃 | 【横浜市・都市ボランティア】通知 | | | | | | | | | |
| | 4～6月 | 役割別研修 | 各役割の基礎知識 具体的な活動内容等 | 教室形式 | 交通観光案内 | 1,930人 | 100人 | 20 | 机椅子が稼働できる場所 未定 | 3時間 | |
| 教室形式 | | | | 美化推進 | 260人 | 100人 | 3 | 3時間 | | | |
| 教室形式 | | | | イベント補助 | 630人 | 100人 | 7 | 3時間 | | | |
| 教室形式 | | | | 事務局補助 | 180人 | 100人 | 2 | 3時間 | | | |
| | 4～6月 | リーダーシップ研修 | ボランティアリーダーの基礎知識 具体的な活動内容等 | | ボランティア リーダー | 300人 | 100人 | 3 | 机椅子が稼働できる場所 未定 | 3時間 | |
| | 4～6月 | 配置場所別研修 | 現地確認 配置場所別基礎知識等 | 現地 | ラストマイル | 未定 | 100人 | 未定 | 現地 | 未定 | |
| 現地 | | | | 主要駅 | 未定 | 100人 | 未定 | 現地 | 未定 | | |
| 現地 | | | | 観光地 | 未定 | 100人 | 未定 | 現地 | 未定 | | |
| 現地 | | | | イベント会場 | 630人 | 100人 | 6 | 現地 | 未定 | | |
| | 6月～ | 【ユニフォーム受け取り】 | | | | | | | | | |

【研修のゴール】

都市ボランティアとして必要となるマインド、知識の基礎を身につける

横浜市ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックにおける横浜市のボランティアについての基本方針

方針1：円滑な大会運営支援と来訪者へのおもてなし

安全で円滑な大会運営を支援するとともに、横浜を訪れる方々が快適に楽しく過ごせるようなおもてなしの提供に取り組みます。

方針2：質の高いおもてなしを提供できる人材育成

横浜を訪れる方々に分け隔てなく思いやりを持ち、多様性を尊重する意識や国際感覚等を持つ人材の育成に取り組みます。

方針3：多様な参加者の活躍促進

様々な方々が参加しやすく、いきいきと活躍いただけるよう、募集、採用、配置など、それぞれのプロセスにおける環境整備等に取り組みます。

方針4：両大会経験者の活動継続

両大会を契機に、多くの皆様が大会後もボランティアに継続的に参加するなど、ボランティア文化の醸成・定着に向けて取り組みます。

| 本研修で取り扱う学習テーマ | | |
|------------------|------------|-----------|
| リスク管理 | 横浜市の知識 | おもてなしマインド |
| ダイバーシティ&インクルージョン | コミュニケーション力 | 異文化理解 |
| ボランティアの基礎知識 | チームビルディング | リーダーシップ |
| | ボランティアレガシー | |

| 時期 | イベント名 | 概要 | 形式 | 対象 | 対象人数 | 定員 | 回数 | 会場 | 時間 | 備考 | |
|-------|----------|-----------------------------|---------------------------|--------------|------|--------|--------|----|----------|-----|--|
| 2019年 | 9月頃 | 共通研修受講者決定【横浜市・都市ボランティア登録】通知 | | | | | | | | | |
| | 10月6日(日) | 共通研修 1回目 | 式典 来賓等を迎える 参加者の機運醸成 | イベント (座学) | 全員 | 3,000人 | 3,000人 | 1 | 横浜市文化体育館 | 3時間 | MC、市長ご挨拶、ゲスト、映像、クイズ、ゲーム、字幕、欠席者フォロー等 ※午前設営、14時開場、15時開演 |

| 時期 | イベント名 | 概要 | 形式 | 対象 | 対象人数 | 定員 | 回数 | 会場 | 時間 | 備考 |
|-------|-----------|---|-------------|----|--------|------|-----|--------|-----|---|
| 2019年 | 11月16日(土) | 2020大会概要の理解 横浜市の情報提供 ボランティア活動の基礎理解 コミュニケーション力の向上 | ホール (座学) | 全員 | 3,000人 | 500人 | 共通1 | 戸塚公会堂 | 3時間 | ボランティアは全回通じて1回参加することとし、各日で同内容を最低2回実施すること。 |
| | 11月17日(日) | | | | | 500人 | 共通2 | 戸塚公会堂 | | |
| | 11月22日(金) | | | | | 500人 | 共通3 | 神奈川公会堂 | | |
| | 11月24日(日) | | | | | 500人 | 共通4 | 西公会堂 | | |
| | 11月30日(土) | | | | | 500人 | 共通5 | 神奈川公会堂 | | |
| | 12月6日(金) | | | | | 500人 | 共通6 | 戸塚公会堂 | | |

1.共通研修①(式典)

180分

| 章 | 主な内容 | 進め方 | 所要時間 | 備考 |
|---------------------------|--------------------------------------|---------|------|---|
| ウェルカム・パフォーマンス | 地元の団体によるパフォーマンス、高校生ボラによる会場案内 | | 開場後～ | |
| 楽しくワクワクする気持ちを醸成 | 吹奏楽 | 演奏 | | |
| 「歓迎されている」ことを実感 | | | | |
| 世界最高峰のイベントに参加できることを誇りに感じる | 会場内には大会や競技のスクリーン投影や展示 | 自由に回遊 | | パネル写真、絵画、記念撮影コーナーなど |
| オープニング | ようこそ、CITY CAST YOKOHAMAボランティアプログラムへ！ | MC | 5分 | 会場案内、災害時の対応など |
| | 大会や競技のスクリーン投影 | 音楽・映像 | | コンセプトムービーを作成 |
| ボランティア・プログラムについて | ボランティア・ジャーニーがはじまる！ | MC | 15分 | |
| | | MC | | |
| | 私たちの航海図 ～本番までの9か月、そしてその先へ | MC、スライド | | “横浜港発”のラーニングMAPを作成 |
| | 本日の研修のゴール | MC、スライド | | |
| 挨拶 | 市長、来賓からの挨拶と謝辞 | | 5分 | |
| 東京2020大会と開催都市について | 大会概要 | MC、スライド | 25分 | |
| | 開催都市の役割(横浜市の紹介) 映像3分 | MC、映像 | | |
| | 全国各地の競技会場 ～オールジャパンで支える東京2020大会 映像5分 | MC、映像 | | |
| | 野球、ソフトボール(横浜スタジアム) | | | |
| | サッカー(日産スタジアム) | | | |
| | | | | |
| CITY CAST YOKOHAMAについて | CITY CAST YOKOHAMAのゴール | | 15分 | |
| | 活動内容の紹介 | | | |
| | CITY CAST YOKOHAMAに必要な3要素 | | | |
| | 1.東京2020大会をみんなで楽しむ心 | | | 多様な観客、仲間とともに大会を盛り上げる |
| | 2.色々なことを発見できるアンテナ | | | より多くのことを発見する機会とする(自分自身のこと、社会のこと、多様性のこと) |
| | 3.本番までの準備 | | | 世界各国から訪れる多様な観客・仲間が安全・快適に大会を楽しむためのインプット、実践、体力づくり |
| | 2020年は、これからもボランティア活動を行うための土台づくりの年 | | | 今回はボラ経験問わず抽選に…新たな仲間を増やすための施策 |
| | | | | |
| オリンピック・パラリンピックの魅力について | トークセッション(オリンピック、パラリンピアン) | | 30分 | |
| | 出場の思い出、ボランティアとの関わりなどの体験談を紹介 | | | 準備の大切さ、暑さへの備えなど |
| | オリンピックの登壇 | | | |
| | パラリンピアン登壇 | | | |
| 休憩とパフォーマンス | 和太鼓パフォーマンスorチアorダンス | 演奏or演技 | 20分 | |
| | 会場内には大会や競技のスクリーン投影や展示 | 自由に回遊 | | パネル写真、絵画、記念撮影コーナーなど |
| | | | | |
| ボランティアの魅力について | パネルディスカッション(有識者、ボランティア経験者、障がいのある方) | | 40分 | |
| | ボランティアの基本理解と期待される効果、都市ボラへの期待について | | | |
| | ボランティア経験者 | | | 自分の街にオリパラがやってくる高揚感、大会の当事者になれる喜び |
| | ダイバーシティ有識者 | | | ユニバーサルマナーの観点から都市ボランティアに期待すること |
| ボランティア・ジャーニーについて | 今後の研修スケジュール等 | | 10分 | |
| | 伝達事項 | | | スケジュール、SNS利用など |
| クロージング | 閉会の挨拶 | | 5分 | |
| 退場 | 会場のスタッフ、誘導ボランティアとハイタッチをして退場 | | | |
| | | | 170分 | |

1.共通研修②(研修)

企画段階からプレスリリース、SNS等で情報を発信（1か月前からカウントダウン）

180分

| 章 | 主な内容 | 進め方 | 所要時間 | 備考 |
|---------------------------|--|---------|------|--|
| ウェルカム・パフォーマンス | | | 開場後～ | |
| 楽しくワクワクする気持ちを醸成 | コンセプトムービーの投影 | 映像 | | 式典で使用した映像を使用 |
| 世界最高峰のイベントに参加できることを誇りに感じる | 会場内には大会や競技のパネル展示 | 自由に回遊 | | パネル写真、絵画、記念撮影コーナーなど |
| オープニング | ようこそ、共通研修へ！ | 講師 | 5分 | 会場案内、災害時の対応など |
| | 事務連絡(挨拶、会場案内、スケジュールなど) | | | |
| | | 全員でコール | | |
| アイスブレイク | 「自己紹介」「今日、自宅～会場到着までに一番うれしかったこと」 | ペアワーク | 5分 | 他の人と笑顔で言葉を交わす |
| 本日の研修について | ボランティア・ジャーニーを確認しよう！ | 講師 | 10分 | |
| | 私たちの航海図 ～本番までの8か月、そしてその先へ | スライド | | “横浜港発”のラーニングMAPを作成 |
| | 本日の研修のゴール | スライド | | |
| 東京2020大会と開催都市について | 大会概要 | 講師 | 30分 | |
| | 開催都市の役割 | | | |
| | 世界中から、日本中から横浜に観客がやってくる！ | クイズ形式 | | 何か国？どこの国？何語？ |
| | 活動場所(横浜スタジアム、日産スタジアム) | クイズ形式 | | |
| | 競技(野球/ソフトボール、サッカー) | クイズ形式 | | |
| CITY CAST YOKOHAMAについて | CITY CAST YOKOHAMAのゴール | | 30分 | |
| | 活動内容の紹介 | | | |
| 休憩 | | | 15分 | |
| CITY CAST YOKOHAMA活動を考えよう | ディスカッション:「都市ボランティアに絶対必要なモノって何？」 | 講師 | 20分 | |
| | グループワークの説明 …前後左右4名1組で意見交換 | グループワーク | | |
| | 個人ワーク→グループワーク | | | 観光・交通案内の知識、語学力、オリパラの歴史、笑顔、体力、気づく力等 |
| | カギとなるのは「CITY CAST YOKOHAMAのゴール」と「3つの要素」 | | | |
| | 東京2020大会のビジョン(3つの基本コンセプト) | | | |
| | CITY CAST YOKOHAMAに必要な3要素 | | 20分 | |
| | 1.東京2020大会をみんなで楽しむ心 | | | |
| | 多様な観客、仲間とともに大会を楽しむためのヒント | | | ダイバーシティ&インクルージョン |
| | 2.色々なことを発見できるアンテナ | | | 気づくこと、一歩踏み出すことが大切 |
| | 「おもてなし」も「チームでの活動」も基本はコミュニケーション | | | コミュニケーションの量を増やすと発見も増える |
| | 3.本番までの準備 | | | |
| | 自分の得意分野をさらに伸ばす、学びたいことを見つける | | | 世界各国から訪れる多様な観客・仲間が安全・快適に大会を楽しむためのインプット、実践、体力づくり |
| ボランティアへの期待 | 良いチーム活動は一人ひとりのリーダーシップ(フォロワーシップ)発揮から！ | | 20分 | 大規模イベントのボランティアは一人ではできない活動、チームワークがより重要となる |
| | リーダーを支えるメンバーが成功のカギを握っている 「大会の成功」と「ボランティアを楽しむ仲間を増やすこと」がゴール | | | 集合場所に到着し「私の役割は何でしょう？」と質問する人が存在する事例を紹介。事前準備もフォロワーシップの発揮である。 |
| | 「年下の方がリーダーだったら」「ボランティア経験の浅い人がリーダーだったら」どうする？ | | | リーダーを引き受けてくれたことに感謝し、メンバー一人ひとりがチームを支えるように |
| | サポートを必要としている方への対応は、コミュニケーションからはじめよう | | | サポートを必要としている方への声がけと希望を聞くことが重要。サポート方法の詳細はテキストに記載があることを紹介。 |
| 本番までの準備を考えよう | 自分らしい発見、自分らしいおもてなしをするために何をするか？ | | 10分 | 一人ひとり自分の強みを生かす主体的な活動を考える |
| | 個人でワークシートに記入 | | | |
| | グループで発表、共有(発表の後に拍手) | | | |
| ボランティア・ジャーニーについて | 今後の研修スケジュール等 | | 10分 | 色々な役割・活動場所があり希望と異なる可能性もある。前向きな気持ちで活動に臨んでほしい。 |
| | 伝達事項 | | | スケジュール、SNS利用など |
| クロージング | 閉会の挨拶 | | 5分 | |
| 退場 | | | | |
| | | | 180分 | |

【研修のゴール】

それぞれ活動の本番に向けて準備をする

横浜市ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックにおける横浜市のボランティアについての基本方針

方針1：円滑な大会運営支援と来訪者へのおもてなし

安全で円滑な大会運営を支援するとともに、横浜を訪れる方々が快適に楽しく過ごせるようなおもてなしの提供に取り組みます。

方針2：質の高いおもてなしを提供できる人材育成

横浜を訪れる方々に分け隔てなく思いやりを持ち、多様性を尊重する意識や国際感覚等を持つ人材の育成に取り組みます。

方針3：多様な参加者の活躍促進

様々な方々が参加しやすく、いきいきと活躍いただけるよう、募集、採用、配置など、それぞれのプロセスにおける環境整備等に取り組みます。

方針4：両大会経験者の活動継続

両大会を契機に、多くの皆様が大会後もボランティアに継続的に参加するなど、ボランティア文化の醸成・定着に向けて取り組みます。

本研修で取り扱う学習テーマ

| | | |
|------------------|------------|-----------|
| リスク管理 | 横浜市の知識 | おもてなしマインド |
| ダイバーシティ&インクルージョン | コミュニケーション力 | 異文化理解 |
| ボランティアの基礎知識 | チームビルディング | リーダーシップ |
| | ボランティアレガシー | |

| 時期 | イベント名 | 概要 | 形式 | 対象 | 対象人数 | 定員 | 回数 | 会場 | 時間 | 備考 |
|---------------------|-------|----------------|----|-----|------|-----|-------|-------------|-----|----|
| 2019年 2020年 | 任意研修① | 危機管理研修 (AED講習) | 実習 | 希望者 | 400人 | 50人 | 危機管理1 | 机椅子が稼働できる場所 | 2時間 | |
| | | | | | | 50人 | 危機管理2 | | | |
| | | | | | | 50人 | 危機管理3 | | | |
| | | | | | | 50人 | 危機管理4 | | | |
| | | | | | | 50人 | 危機管理5 | | | |
| | | | | | | 50人 | 危機管理6 | | | |
| | | | | | | 50人 | 危機管理7 | | | |
| | | | | | | 50人 | 危機管理8 | | | |

| 時期 | イベント名 | 概要 | 形式 | 対象 | 対象人数 | 定員 | 回数 | 会場 | 時間 | 備考 |
|---------------------|-------|------------|----|-----|------|-----|-------|-------------|-----|----|
| 2019年 2020年 | 任意研修② | 障がい者サポート研修 | | 希望者 | 400人 | 50人 | サポ-ト1 | 机椅子が稼働できる場所 | 2時間 | |
| | | | | | | 50人 | サポ-ト2 | | | |
| | | | | | | 50人 | サポ-ト3 | | | |
| | | | | | | 50人 | サポ-ト4 | | | |
| | | | | | | 50人 | サポ-ト5 | | | |
| | | | | | | 50人 | サポ-ト6 | | | |
| | | | | | | 50人 | サポ-ト7 | | | |
| | | | | | | 50人 | サポ-ト8 | | | |

| 時期 | イベント名 | 概要 | 形式 | 対象 | 対象人数 | 定員 | 回数 | 会場 | 時間 | 備考 |
|---------------------|-------|-----------|----|-----|------|-----|----|---------|----|----|
| 2019年 2020年 | 任意研修③ | 競技会場見学ツアー | 現地 | 希望者 | 100人 | 50人 | 2回 | 日産スタジアム | 半日 | |
| | | | | | 100人 | 50人 | 2回 | 横浜スタジアム | 半日 | |

| 時期 | イベント名 | 概要 | 形式 | 対象 | 対象人数 | 定員 | 回数 | 会場 | 時間 | 備考 |
|---------------------|-------|-----------|----|-----|------|-----|----|----|-----|------------|
| 2019年 2020年 | 任意研修④ | 観光名所見学ツアー | 現地 | 希望者 | 100人 | 50人 | 2回 | 未定 | 3時間 | 有料施設は参加者負担 |

2.任意研修①（危機管理講習）_詳細

企画段階からプレスリリース、SNS等で情報を発信

180分

| 章 | 主な内容 | 進め方 | 所要時間 | 備考 |
|---------------------------|---|--------|------|---------------------|
| ウェルカム・パフォーマンス | | | 開場後～ | |
| 楽しくワクワクする気持ちを醸成 | コンセプトムービーの投影 | 映像 | | 式典で使用した映像を使用 |
| 世界最高峰のイベントに参加できることを誇りに感じる | 会場内には大会や競技のパネル展示 | 自由に回遊 | | パネル写真、絵画、記念撮影コーナーなど |
| オープニング | ようこそ、役割別研修へ！ | 司会 | 5分 | 会場案内、災害時の対応など |
| | 事務連絡(挨拶、会場案内、スケジュールなど) | | | |
| | | 全員でコール | | |
| | ボランティア・ジャーニーを確認しよう！ | 司会 | | |
| | | | | |
| | 私たちの航海図 ～本番までの●か月、そしてその先へ | スライド | | “横浜港発”のラーニングMAPを作成 |
| | | | | |
| 本日の研修について | 本日の研修のゴール | 講師 | 5分 | |
| | 都市ボランティアとして心肺蘇生法を救急車が到着するまでの時間程度 できる | | | |
| | 自動体外式除細動器(AED)について理解し、正しく使用できる | | | |
| | | | | |
| 応急手当の重要性 | 応急手当の目的 | | 15分 | |
| | 日常生活とボランティア活動時の応急手当の必要性について | | | |
| | | | | |
| 心肺蘇生法とは | 観察の手順 | 講師 | 15分 | |
| | 心肺蘇生法の紹介 | | | |
| | | | | |
| 心肺蘇生法の実技 | 接触から観察までのフローを確認しよう | 実技 | 50分 | |
| | 3つの心肺蘇生法 | | | |
| | 気道確保 | | | |
| | 人工呼吸 | | | |
| | 胸骨圧迫 | | | |
| | | | | |
| 休憩 | | | 10分 | |
| | | | | |
| AED使用方法 | AEDの使用方法について | 講師 | 20分 | |
| | 心肺蘇生法を含めたAEDの使用方法について | | | |
| | | | | |
| AEDを含めた心肺蘇生法の実技 | 心肺蘇生法を実際にやってみよう | 実技 | 40分 | |
| | AEDの使用方法を体験しよう | | | |
| | | | | |
| ボランティア・ジャーニーについて | 今後の研修スケジュール等 | 司会 | 5分 | |
| | 伝達事項 | | | スケジュール、SNS利用など |
| | | | | |
| クロージング | 閉会の挨拶 | 司会 | 5分 | |
| 退場 | | | | |
| | | | | |
| | 合計 | | 170分 | |

2.任意研修②（障がい者サポート）_詳細

企画段階からプレスリリース、SNS等で情報を発信

120分

| 章 | 主な内容 | 進め方 | 所要時間 | 備考 |
|---------------------------|---|-----------------------------|------|--|
| ウェルカム・パフォーマンス | | | 開場後～ | |
| 楽しくワクワクする気持ちを醸成 | コンセプトムービーの投影 | 映像 | | 式典で使用した映像を使用 |
| 世界最高峰のイベントに参加できることを誇りに感じる | 会場内には大会や競技のパネル展示 | 自由に回遊 | | パネル写真、絵画、記念撮影コーナーなど |
| オープニング | ようこそ、任意研修へ！ | 講師 | 5分 | 会場案内、災害時の対応など |
| | 事務連絡(挨拶、会場案内、スケジュールなど) | | | |
| | | | | |
| 「ダイバーシティ&インクルージョン」とは | 東京2020大会とダイバーシティ&インクルージョンの意味を知る | 講師 | 5分 | 東京2020大会でめざすこと |
| | | | | ボランティアの強みを活かす(多様である、自主的に動く) |
| 相手の立場で考える | 障がいのある方の視点から社会や環境を見つめ直す機会とする | 障がい者 講談 (もしくは映像) 質疑応答 | 15分 | 障がい者の話を聞いて、ちがう立場からの視点を学ぶ |
| 課題解決ワーク | シーンを示して、「障害の原因は何か」等の課題解決ワーク | 講師 | 20分 | 多数決で決めるのではなく、他の意見を聞き話し合う |
| | 障がい者だけではなく、環境にも原因があることに気づく | グループワーク | | 課題解決を通して、全員が発言する、正解はひとつではないことを体験する |
| 障がいの社会モデル | | 講師による締め | | 障がいの社会モデルについて解説 |
| | | | | |
| 休憩 | | | 10分 | |
| | | | | |
| 障がい者サポート体験 | | 講師 | 45分 | 障がい者サポート体験のすすめ方 |
| | 障がい者としてサポートされる体験を通して、相手の気持ちを知る 普段から障がい者への声掛けをためらわなくなるように促す | 実習 | | ex)視覚障がいの場合、アイマスクをかけて席から席へ移動。車いすが用意できる場合は、車いすでの移動サポート実習。 |
| | | 講師 | | |
| | | | | |
| 本番までの準備を考えよう | 自分らしい発見、自分らしいサポートをするために何をするか？ | | 10分 | |
| | 個人でワークシートに記入 | 個人ワーク | | |
| | グループで発表、共有(発表の後に拍手) | グループワーク | | |
| | | | | |
| ボランティア・ジャーニーについて | 今後の研修スケジュール等 | | 5分 | |
| | 伝達事項 | | | スケジュール、SNS利用など |
| | | | | |
| | | | | |
| クロージング | 閉会の挨拶 | | 5分 | |
| 退場 | 会場のスタッフとハイタッチをして退場 | | | |
| | 合計 | 分 | 120分 | |

2.任意研修③-1（競技会場/横浜スタジアム見学ツアー）_詳細

1500円？

120分

| 章 | 主な内容 | 進め方 | 所要時間 | 備考 |
|--------------------|---|-------------------|----------|----------------|
| オープニング | ようこそ、任意研修へ！ 事務連絡(挨拶、会場案内、スケジュールなど) | 事務局 | 5分 | 会場案内、災害時の対応など |
| 横浜スタジアムの歴史と概要 | 1874年(明治7年)居留外国人のクリケットグラウンドの着工 ～2018年球場開場40周年を迎えるまで 球場の概要について | スタジアム関係者 による説明 | 60分 | |
| 関係者のみ立ち入り可能なエリアの見学 | ロッカー室 ベンチ 芝生体験 記者席 駐車場 ブルペン | | | |
| 一般の観客が利用するエリアの見学 | 観客席 トイレ(車いす対応含む)、授乳室など等の施設 | | | |
| 休憩 | | | 10分 | |
| 横浜公園について | 横浜では「2番目に古い公園」としての歴史 トイレなどの施設 | 公園関係者による説明 | 15分 | |
| 横浜スタジアムへのアクセス | JR・市営地下鉄「関内駅」からのアクセスルート みなとみらい線「日本大通り駅」のアクセスルート | | 5分 5分 | 地図上で確認 |
| ボランティア・ジャーニーについて | 今後の研修スケジュール等 伝達事項 | 事務局 | 5分 | スケジュール、SNS利用など |
| クロージング | 閉会の挨拶 | 事務局 | 5分 | |
| 解散 | | | | |
| | 合計 | 分 | 110分 | |

2.任意研修③-2（競技会場/横浜国際競技場見学ツアー）_詳細

400～500円

120分

| 章 | 主な内容 | 進め方 | 所要時間 | 備考 |
|------------------|---|-------------------|----------|--|
| オープニング | ようこそ、任意研修へ！ 事務連絡(挨拶、会場案内、スケジュールなど) | 事務局 | 5分 | 会場案内、災害時の対応など |
| 横浜国際総合競技場の歴史と概要 | FIFAワールドカップ TM の第1回大会からの歴史 サッカー発祥の地、横浜の紹介 | スタジアム関係者 による説明 | 60分 | スタジアム ギャラリー |
| ワールドカップスタジアムツアー | 有名選手の足型や予選～2002年決勝までの全試合結果が刻まれたレリーフ 本スタジアムで開催の4試合を、試合結果とともに大型写真パネルで紹介 世界中の観客を迎えるために活動した、ボランティアの様子を紹介 決勝戦当日のブラジル代表のロッカーを再現 試合前にコンディションを整える場所 実物大のゴール枠も再現 大会誘致活動から、決勝戦まで、横浜の盛り上がりを紹介 サッカーを始めとしたスポーツに関する企画展示 入場音楽につつまれ、フィールドへ 世界の有名人たちが座ったVIP席を紹介 横浜F・マリノスと横浜FC(2007年度より)そして日本代表の試合を紹介 サポーターたちが集い、勝利を願う場所 | | | モニュメント2002 ゲームズ オブ 横浜2002 ボランティア ウォール ブラジルロッカールーム(2002年6月30日) ウォーミングアップルーム Road to YOKOHAMA 企画展示コーナー ビクトリー ロード VIPシート オールゴールズ&ゲームズ Victory is Ours(勝利の鐘) |
| 休憩 | | | 10分 | |
| 新横浜公園について | 公園の概要について トイレなどの施設、駐車場 | 公園関係者による説明 | 25分 | |
| 横浜国際総合競技場へのアクセス | JR・市営地下鉄「新横浜駅」からのアクセスルート JR線「小机駅」のアクセスルート | | 5分 5分 | 地図上で確認 地図上で確認 |
| ボランティア・ジャーニーについて | 今後の研修スケジュール等 伝達事項 | 事務局 | 5分 | スケジュール、SNS利用など |
| クロージング | 閉会の挨拶 | 事務局 | 5分 | |
| 解散 | | | | |
| | 合計 | 分 | 120分 | |

※参照先：日産スタジアムHP
<https://www.nissan-stadium.jp/>

7. 研修テキスト案

| 章 | 中項目 | 小項目 |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 横浜市の基礎情報 | 1.横浜市の歴史 | ・国際都市・横浜への理解 |
| | | ・2019年は横浜港開港160周年 |
| | 2.横浜市の文化 | ・横浜発祥(鉄道、アイスクリーム、日本テニスなど) |
| | | ・「アーツコミッション・ヨコハマ」概要 |
| 横浜市の観光 | 1.名所 | ・三溪園、赤レンガ倉庫、山下公園など |
| | 2.美術館、博物館 | ・横浜美術館、新横浜ラーメン博物館など |
| | 3.レジャー施設 | ・横浜コスモワールド、八景島シーパラダイスなど |
| | 4.ショッピング、レストラン | ・横浜中華街、元町など |
| 横浜市の交通 | 1.市営バス | ・路線図、乗り方、運賃など |
| | | ・観光スポット周遊バス「あかいくつ」の案内 |
| | 2.市営地下鉄 | ・路線図、乗り方、運賃など |
| | | ・「みなとぶらりチケット」の案内(バス・地下鉄共通) |
| 3.その他の電車、鉄道、バス | ・東海道線、横浜線、みなとみらい線、東急バスなど | |
| 4.空港、主要駅から横浜中心部、観光地へのアクセス | ・羽田空港、東京駅などからのアクセス | |
| 横浜市の競技会場 | 1.横浜国際総合競技場(サッカー) | ・基本情報 |
| | | ・主要ターミナル拠点からのルート |
| | | ・最寄駅からのアクセス/マップ |
| | | ・新横浜駅、小机駅の駅情報 |
| | 2.横浜スタジアム(野球、ソフトボール) | ・駅周辺情報 |
| | | ・競技種目、競技日程 |
| | | ・基本情報 |
| | | ・主要ターミナル拠点からのルート |
| 実施競技 | 1.サッカー | ・最寄駅からのアクセス/マップ |
| | | ・関内駅、日本大通り駅の駅情報 |
| | | ・駅周辺情報 |
| | 2.野球 | ・競技種目、競技日程 |
| | | ・男子サッカー概要(歴史、過去のオリンピックなど) |
| | | ・女子サッカー概要(歴史、過去のオリンピックなど) |
| | 3.ソフトボール | ・ルール説明 |
| | | ・概要(歴史、過去のオリンピックなど) |
| ・ルール説明 | | |
| 出場国情報 | 1.サッカー | ・世界の強豪国/勢力図 |
| | | ・予選情報(出場国決定日) |
| | 2.野球 | ・世界の強豪国/勢力図 |
| | | ・予選情報(出場国決定日) |
| | 3.ソフトボール | ・世界の強豪国/勢力図 |
| | | ・予選情報(出場国決定日) |